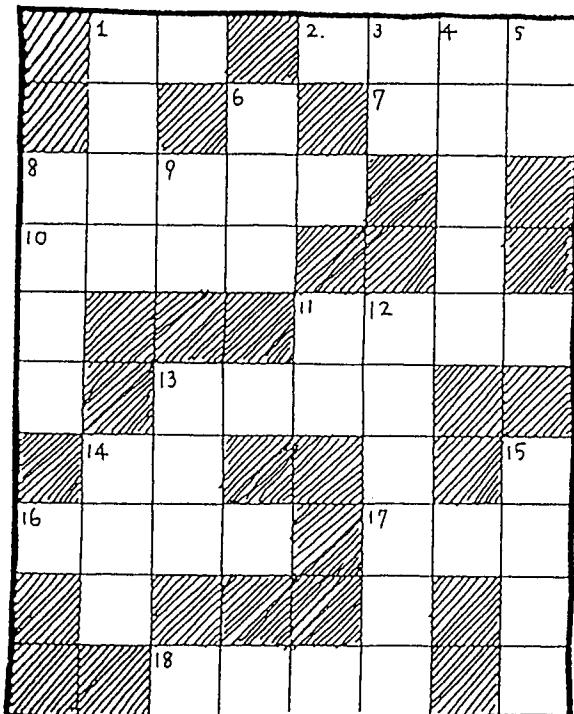


広島大学外国人留学生日本語研修コース
第十九期（1994年10月～1995年3月）

成果発表会

1995年3月1日(水)



Nacko.T

お金が〇〇〇いたう、ひろって警察へ行きましょ。

服(ふく)。T〇〇〇、Y〇〇〇
レナートさんは〇〇〇〇〇人です。でも
月がら来たの、もしません。
はる。〇〇。あき。〇〇

「shell」は日本語で何ですか。
リジヤルさんは〇〇〇〇〇〇から来ました。
フキコさんは2月末に〇〇〇に行きました。
フキコさんの国は〇〇〇です。
ヤンさんは結婚しています。〇〇〇〇
と子どもは国にいます。
女の人にあげるとよろこばれます。
アクセサリーの一つ。〇〇〇レス。

* 全部片仮名で書いてみてください。

《三》

1. _____さんはかんこくから来ました。
 2. 広島に行くなら _____にも
行くといいですよ。見学で行きまし。
 3. クラスで一番若いです。
 4. タイ行は _____ト。
 5. リジャルさんの本当の名前は、
_____リジャルです。
 6. イグナチオは _____人です。
 7. 広島の _____は有名です。
 8. _____はふしぎな人です。
 9. ジャネットさんは _____から
来ました。

1. ジャネットさんは〇〇〇〇大学へ
行きます。
2. 南国 の木 の名前。
3. 密林、アフリカ、アマゾンが有名
〇〇ダ という車の工場へ見学に

プログラム

1. 広島での生活の印象	イガ・フキコ・フェイリーン	(カナダ)	----- 1
2. 日本での毎日の生活	ボルトーネ・レナート	(イタリア)	----- 4
3. ジャワ島西部もおもしろいですよ	カイルルリジヤル	(インドネシア)	----- 7
4. 日本のせいかつ	ムレヤ・ジ・ヤネット・スイボ	(サンビア)	--- 10
5. 日本でのイグナチオの生活	イマス・ウレンゴ・エチュア・イグナチオ (スペイン)	(スペイン)	----- 14
6. 広島で感じたこと	ヤン・グニョン	(韓国)	----- 17

広島での生活の印象

伊賀 落子

私はこの日本語研修コースの皆さん達と違う授業を受けていて、この授業の面白さや仲間のおかしさを受けられなくて残念でした。

この六ヶ月を経て以上、それぞれの人が研究の道へ進みます。楽しい六ヶ月間でした。

広島へ来る前に広島のイメージはどうしてもさびしいという印象でした。でも、広島へ来ると、平和公園の緑や本通りのにぎやかさでおろきました。川が右方からまちがうるおっていふと思いました。路面電車の昔の印象と高層ビルの都会的な印象がちょうどわしていることはとてもすてきだと思いました。そして西条へ来て部屋の窓から見た風景はすばらしいものでした。私の国カナダも豊かな自然がありますが、それに負けないくらいの山々におろきました。

以前日本に滞在したのは、大阪、東京など都會でした。今回西条の上うな田舎に来て、

まつりを見たり、酒造りのくらの周辺を歩いた時、親近感を感じ、日本の魂を感じました。

原ばく資料館は三回目ですが、この前は出身地が松山の父と訪問し、主観的にみることできました。原ばくから復興する広島の写真をみながら父は自分のけいけんを話してくれました。父の個人的な意見を開き、歴史的なできごとを違う目でみることができました。特に被爆者個人個人について深く考りました。先日阪神大震災がありましたが、七人ほどの人々の人の名前が次々と報道されるのを見て悲しい気持ちになりました。私は、火の中で苦しみながら死んでいった一人一人のことを考える人間性を持ちたいと思いました。

日本に来ていろんな国の人と話す機会を持ち、個人個人、同じ国の人でもみんな個性をもつた人間であると思いました。もっと個人の大切さを尊重し、暖かい目で見れるようになりたいと思います。また「日本での生活は続

先生方が、いろんなことを吸収して帰り方
を思い出す。

日本での毎日の生活

ボルト一ネ レナート

イタリアをでて10月5日に私は関西空港につきました。次の日東広島市へ来ました。国際交流会館の九階に住んでいます。私の部屋はとても小さいです。これから私の日本での毎日の生活を紹介します。私は毎朝七時に起きて、まず顔を洗ります。そして歯を磨きます。朝ごはんにミルクティー やオレンジジュースを飲みます。バナナと卵焼きとパンを食べます。土曜日と日曜日はクラスがありますから午前中私は部屋を出ません。月曜日から木曜日までは九時半に、金曜日は十時半に部屋を出ます。国際交流会館から大学まで自転車で十五分くらいです。月曜日から木曜日までは日本語のクラスは九時五十分に、金曜日は十時五十分に始まります。毎日午前の日本語のクラスは十二時二十分ごろ終わります。昼ごはんは十二時半ごろ自分の部屋で食べます。時々食堂でも食べます。

スペゲッティーやピザや鳥肉やオムレツや野菜なども食べます。ビールやソースを飲みます。昼は朝に比べても楽しめます。午後の日本語のクラスは一時二十分から始まります。そして月曜日から木曜日までは四時四十分に終わります。それから五時ごろは夕食を食べます。ラーメンやうどんやそばやすきやきやまくろやみかんやりんごなどを食べます。コーヒーや牛乳を飲みます。夕食のあとで、よく図書館へ行きます。図書館で英語の新聞や雑誌を読みます。いつも七時ごろ電気工学の結晶物理学の実験室へ行きます。複数人の道具を使います。十時半ごろ実験室を出ます。土曜日と日曜日の午後に、自転車でスープへ行きます。西条にはたくさんスープがあります。夜は時々テレビを見たり、CDやテープで音楽を聞いたり、友達に会ったりします。毎日十三時半ごろ寝ます。

日本語のクラスはあまりおもしろくありません

せんでした。なぜなら、インターナショナルのある会話練習が少ないので、英語の説明も少ないのであります。理解するのにはたいへんでした。日本語はとても難しい言葉です。でも、おもしろいです。私は日本語や漢字がもっと上手になりたいです。日本語の新聞や、図書館で見た面白そな本を読みようになりました。でも、たぶんそれはとても難しいと思いまさが。

今まで、でもありますかとうございました。

ジャワ島西部もおもしろいですよ

カイルハリジヤル

インドネシアには島が1万8千あって、その中で特に大きい島が5つあります。スマトラ島とジャワ島、カリマンタン島とスラウェシ島、イリアンジャヤ島です。バリ島は小さくて、ジャワの東にあります。日本人はよくバリ島を旅行しますが、ほかの観光名所を知っていますか。ジャワ島西部はおもしろいですよ。バリ島に行って、どうしてジャワ島西部に行かないのですか。皆さんのために、ジャワ島西部へ私がご案内しましょう。

まず、バリのデンパサールでジャカルタ行き飛行機に乗って下さい。2時間しかかかりません。デンパサールと、ジャカルタの温度はあまりちがいません。29度ぐらいです。ジャカルタに1晩泊まって、「TMI」とボゴールの植物園を訪ねます。「TMI」というのは TAMAN MINI INDONESIA INDAHの略で、インドネシ

ア文化を紹介している所です。あちこちを旅行する時間やお金がない人はここに来れば、インドネシアのいろいろな文化やけんちく物を見ることが出来ます。インドネシアには2フ県があるので、伝統的な家が2つあります。日曜日にはその家の中で結婚式が見られます。ボゴールの植物園は世界的にとても有名です。ここには珍しい植物が沢山あります。たとえば、「ラフレジア アルノルディ」という花は世界で一番大きい花で、直径が2m、高さが15mあります。色は黄色で、においは強いです。おいにくく、この花は2年おきに咲きます。

2日目はジャカルタからバンドン行きのバスに乘ります。途中でプンチャクとスカブミに寄ります。プンチャクまで1時間30分ぐらいで、プンチャクからスカブミまで1時間くらいかかります。この町は高い所にあるので、涼しいです。プンチャクで茶畠を見学します。8時ごろ着くと、お茶のはをつんでいる女の

人を見ることが出来ます。その日はスカブミの「ジャワナスパ」に泊まって、温泉に入ったり、山を散歩したりします。ここはとても静かな所です。

3日目、バントンに着きます。バントンは20世紀の始めには「ジャワのパリ」と呼ばれていました。ホテルに泊まって、晩ごはんを食べたり、バントンの音楽を聞いたり、踊りを見たりします。次の日の午前中「タシクバソプラフ」を見に行きます。「タシクバソプラフ」というのは有名な火山です。ここでいよいよ泉クレーターを見ることが出来ます。山道を散歩してから、近くの有名なレストランで昼ごはんを食べます。特別メニューは焼いたこいです。自分でこいを焼くことが出来ます。

といごの日、バントン発ジャカルタ行きの電車が飛行機に乗って、この旅行は終りです。もし、時間があったら、セリブ島へも行きませんか。この時も私がご案内しましょう。

日本のおいがつ
ジャネット レーナ
みなさんおはようございます。私は日本へ
きたのは1992年の7月がつです。9ヶ月がん東
京にいましたが日本のいろいろなところをり
よこうしました。さいしょ、すべての日本人
のかみはあなじようにみました。ザンビア
ではたくさんのことばがありますが日本では
ひとつのことばしかありません。あなたじこと
ばをはなします。

くうこらでえいごをはなす日本人じょせい
にありました。その人はガイドでした。すべ
ての日本人はえいごをはなせると言いました。
しばらくして私はどこもすこしの日本人
しかえいごをはなせないことがわからました。
だからりょこうや買物等をすることは私にと
つて3、べんてす。

日本のたべものはザンビアのたべものと
どこもちがうので私にはあまりなもんだいです。
日本のりょうりはあまりものやあじのな

いいものがあります。たとえばあんぱんやこうふなどです。私は、(1)ウモジ、ぶしてさんじょくをつくっていきます。ざいりょうはちがひますガザンビアのりとラリをつくることに手をレンジしています。レストランへはあまり行きません。(1)ちとこんなことがありました。友達と日本のしょくどうへいきました。そこにはフォークとナイフはありませんでした。私はまだはしのつがいがたをしりませんでした。日本人の友達は103°んガ153°んでたべてしました。ましだでも私ははん3°んたべるのに303°んもかかってしまいました。それで私は東京ではいつもバックのなかにフォークを(1)れています。

日本のぶんガもすもしろいです。たとえば日本人のいえにい、たとちのことです。まずげんがんてくつをぬがなければなりません。ほんとうにあもしろいですもいました。それがうたたみにすらるとますう3°んごとにあしきのばしたり、まげたり、たいへんでした。

(1)たくてじ、としていらぬませんでした。

もうひとつ、たたみのラズにねるのにはほん
てラにび、くりしました。たぶん日本のいえ
はちきりのでベットやソファがおけないので
しょラ

みなさん私のガムをみてください。さわり
たいですか。私をみると日本の日本人のはんの
うはとてもすもしろいです。とくに私のガム
にキラミがあるようです。「さわ、こもい
ひですガ」とよく人をいます。そしてさうる
と「すごい」といいます。かたくみええのに
やからかうござ。ドレッドヘアのときは
「(1)たくさんひですガ」とよく人もいました。

私はヘアスタイルを替えるとみんな私のこと
をやれてしまします。「あなたはだれです
が」ときかれます。みなさん私のかあきあは
えてください。あながいします。

さいごにわ、しんに日本語をすしえてくだ
さった、せんせりガたにがんしゃします。ほ
してうにありケヒラコギいました。せんせ

サタのあがで日本せいがつにすいじんけ
れました。4ガララ私は山口でべんきよ
するよこ(1)です。またすあいできるのを止の
しみにしています。

日本アのイグナシオの生活

第1部 私のニコ イマド イグナシオ

私の名前はイグナシオイマズと言います。スペインからまいりました。私の年は25才です。日本語と自分の専門のために日本に来ました。日本とスペインはまだたく違います。スペインは、日本より大きいけれども、スペインは気候のいい国です。外国人のお客さまを大切にします。スペイン料理はおいしいです。

スペインの先生が私に助言をくれたア、たの日本に来ました。これから3ヶ月また10ヶ月もいります。日本に来7ヶ月になりましたア、日本と日本人のこと話をしたことがあります。最初の二ヶ月、日本料理はたべるなどができませんでした。しかし今は日本料理が好きです。おはしてたべられたいう感じです。気候は冬は大変寒いです。寒い期間もあったく違って、日本の方が長いです。広島市はとてもきれいな所ですか。私のところ

(2)

(B1とB10)の大きさと広島市の大きさ
はおなじくらいです。山口や大阪や福岡が高
知などに行き、たどりあります。どこもお
もしろい所です。休みには日本の(1303)な
所に行きたくなります。

寺と家の併んぐはめうらじいとあります
。木材の使いかたには、強い印象をうけ
ます。それに公園を大切にしています。

第112部日本の文化と社会

ヨーロッパの文化とまったく違う、日本の
文化に慣れると時間がかかるのでかんばる
なければなりません。大変ですが、かんばれ
ば、もっと大きな人間になると思います。それ
から、日本の家は狭いです。

国際交流会館の留学生の多さはうれしい
です。気持ちがよくなりますが、(1)(1)友だち5(=)
なれました。日本では、強くなければなりません。
日本人のどちらか5も作りたいと思ひま
す。

第13部 終わりに日本に来て6ヶ月になりました

かが、私の人生にとって大きな日々のある6ヶ月だったと思います。これから日本語と日本文化を勉強します。

先生方どもありがとうございました。

(1) 3月 = "あんどう"をおかけしました。私のホストファミリー戸とモダルのスケジュール…ありがとうございます。

広島で感じたこと

梁根榮

人生の中でもう一度学生生活が経験できて本当にたのしいくてまことに嬉しいです。いつでもソニーの人向は自分の人生を自分が決定しなければなりません。私には二つ問題があります。一つ目は子供のことです。私は3年前にけんこんしましたが、まだしろんな経験が不足していました。いまはたしかもう3歳ですが、私のことですが、まだ1歳にならなければなりません。私は日本へきました。よくかんがえればちちかいなから、本当は私のこともはしあわせではないと思します。たがく、私はいつも友達でんわかける時に、私は子どもにあいたくてたまりませんと言います。

二つ目の問題は日本での生活です。

人向はやはり社会的動物ですから、日本で古いともだちがいたいからとびしかったです。いつもよろおとくに自分の国でんわするので私のでんわ料金はしてもたかかったです。

韓国の人たちの家でなんか用事があるけど、私は勉強が忙しいのでいけませんから、大変ごめんねでした。ただでんかで話すことができただけです。うちは人間の体も文化もみんなを古いから同じにしろともだちと一緒に、たくさんおさけをのんたりはなしたりおさんたりしたいです。日本と韓国は文化や生活はたいだいに違いますがしかし日本はやはり外国なのでともだちをつくるのはかんたんでありますませんでした。

生活での二つの問題は料理です。女性より男性は料理が大変だと思します。特に二二での生活はたしたしいじりでひがから、食欲がよくないしひとりで二はんたべるのは、たのしくないしあとかたづけとかえらいとかがモラヒツの大を左問題です。だけど、たまに外の食事へいっててんぶらとかうどんとか豆ばじかおにぎみやまとかいろんな料理がありからとてもよかったです。私は去年10月3日に韓国からまいりました。

私も韓国の中学校で、学生をいつも教えていましたが、教えることはとてもむずかしいです。たゞとにかくいらっしゃるん先生がたがいつも一生けんめい私たちに教えてくれたとしました。私たちがたとえあまりまじめに勉強をしなくてもいつも一生けんめい教えてくれたとしました。本当にありがとうございました。
私は一生広島大学での経験を忘れないこともあります。特に留学生センターの先生がたです。四月から四国にいきますが今度はもうちゃんとがんばります。